



老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」取材して、その人の言葉で四日市の魅力などをお伝えするコーナーです。

- CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
日時：10月1日～31日
月水金日 9：30、20：30
火木土 12：30、20：30
- CTY-FMで毎月第2・第4日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪！」でも紹介します。
日時：10月14日・28日
8：54、14：54

寺田卓二さん

環境教育ネクストステップ研究会の代表を務め、市民協働の促進につながるさまざまな取り組みを実践されている寺田さんに、これまでの活動から見えた持続可能なまち・四日市とは何かを語っていただきました。

■ESDの考え方を広めたい

「環境教育ネクストステップ研究会」は、“ESD”（持続可能な社会づくりのための教育）と“協働”の推進を図ろうとする団体です。環境教育という言葉は、日本では浸透しておらず、非常に狭い意味で捉えられていますが、世界では、「環境教育の目的は持続可能な社会をつくること」と明言されています。この考え方を共有する仲間とともに、さらなる普及を目指したいと考え、会を立ち上げました。

■教員だったことを生かして

もともと教員だった私は、教育の視点からESDを進めてきました。答えのない課題に直面したときにどう解決するかを皆で考えるというトレーニングを若い頃からすることで、持続可能な社会を形成できる人材を生み出すことができると考えます。これまでに、学校の先生や教育委員会と環境教育の進め方を話し合い、現在、学校で使用されている教材にESDの視点を取り入れる手法を提案し、研修会を重ねてきました。今年度は実践推進校ができ、ESDの視点に立った学習指導が取り入れられています。



小学校での教員研修

■人と人をつなぐ

環境学習では、学びが行動に結びつくことが大切ですが、そのためには多様な課題意識を持つ人たちとつながる必要があります。そこで重要になるのが、つなぎ役を果たすコーディネーターです。市（市民協働安全課）でもその必要性を感じられており、課題意識を持った人にコーディネート技術を学んでもらう、実践型の養成講座を企画しました。そこから、協働の手法で課題解決に向けた取り組みを始めた人が生まれてきています。



協働コーディネーター養成講座

■持続可能なまち・四日市

現代社会は、少子高齢化が急速に進んでおり、予測不可能な災害が発生するなど、今までどおりに発展するのは難しいと考えられています。現代を生きる人は、自分たちだけの幸せを考えるのではなく、次世代の人たちにも豊かな環境を残しておかなければなりません。四日市は豊かな自然と文化、産業に恵まれた地域です。それに気付き、できる限り地域の中で、モノもカネも循環し、自然環境の許す範囲内で豊かに生きるコンパクトなまちを新たに創造していく。それが目指すべき「持続可能なまち・四日市」の姿なのだと思います。

有料広告掲載欄

～創業160有余年の信用と実績 お葬式・家族葬のことなら24時間365日お電話ください～



株式会社 ふじや本店
光倫会館
☎0120-114248

- 本社／四日市光倫会館
〒510-0836 四日市市松本町北大谷2015
【TEL】059-351-1151 【FAX】059-351-4224
- 光倫会館 桜ホール
〒512-1211 四日市市桜町6613
【TEL】059-325-2482 【FAX】059-325-2483
- 富田光倫会館
〒510-8014 四日市市富田2丁目3-7
【TEL】059-361-2481 【FAX】059-361-2482

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。